

【新 Quick Master マクロ経済学 [第5版] 訂正表】2016年2月19日現在

| ページ | 問題番号 タイトル | 行数 | 誤 | 正 | 備考 |
|-----|--------------|------------|--|---|--------------|
| 171 | 問題 47 解説 | 下から 6行目 | <p>③式の波線部 $0.1M + G$ に着目する</p> <p>… 中略 …</p> <p>であれば、③式の左辺 Y は一定にとどまる。</p> | <p>③式の波線部 $0.1M + G$ に注目する。③を満たす Y が均衡国民所得であるが、G を1兆円減少させて、M を増加させることで Y が一定になるためには、③の $0.1M + G$ の値が G の減少前と減少後で一定であればよい。よって、変化量を ΔM、ΔG とすると、</p> $0.1\Delta M + \Delta G = 0$ <p>であれば、③を満たす Y が一定に保たれる。</p> | 2016/2/19 訂正 |

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。